

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 27
R5. 5. 25
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかとじぶん~

鉛筆や箸の持ち方どうですか？

最近気になっていることがあります。それは鉛筆や箸の持ち方です。各教室を回って授業や給食の様子を参観するのですが、鉛筆や箸の持ち方が身に付いていない子が少なくありません。

私が大学生の時、大学の先生から「箸と鉛筆の持ち方は、躰と教養だから」と言われたことを今でも覚えています。「躰」とは「身が美しい」と書き表しますが、よい箸の持ち方をしている人を見ると、確かに食事の所作が美しく見えます。鉛筆も良い持ち方をしていると、無理のない力で字形を整えて書くことができます。お子さんの鉛筆や箸の持ち方はいかがですか？



見守り隊の皆様のおかげです(^_-)-☆

学校前の道路の拡幅に伴うプールの解体工事が一昨日から始まりました。それに伴い、本寺方面から登校する子どもたちは、旧バス停周辺の狭い歩道を歩き、正門から学校敷地内に入るようになりました。そのような中、車道を走る車との接触等がないよう、見守り隊の方々が生門まで安全を確保しながら歩いてくださっています。本当にありがとうございます。



◆シリーズ④◆ 枠組みやルールを機能させる親の努力(忘れ物)

《持ち物をなくしたり、忘れ物をしたりする》

忘れた物と場合によっても違いますが、忘れ物をした際に、いつでも学校に届けてあげるといことは子どものためにならないと思います。自分の忘れ物の当然の結果を、子どもは学校で体験するべきだと思うからです。

また、きちんと管理しないために無くしてしまっても、代替りの物を簡単に買ってあげるのはよくありません。物を無くしてしまう管理の悪さも自分の責任です。当然の結果を体験させることが子どもにとって大切です。それが辛いことだったり困ることだったりすれば、自分でしっかり管理するようになります。

